



浄土真宗本願寺派 小倉組

# サンガ小倉

SANGA KOKURA AUTUMN ISSUE

2025 OCTOBER

10月

秋号

令和7年10月発行

## 親鸞聖人の呼び方



【小倉組 組織部部長】  
慈光寺／住職 柳原 浩文

自分のことを「私」とか「僕」と言います。おれ、うち、あたい、とも言ったりします。外では「私」、家に帰れば「わし」と言う人もいるはず。日本人は自分がどういう状況にいるかを判断して使い分けます。日本では普通のことですが、西洋では一人称代名詞は基本「I」しかありません。  
二人称ではどうでしょうか。きみ、あなた、あんた、などこちらもたくさ

んありそう。おまえ、おまえさん、きさま、てめえ。古風なところでは「そなた」「そのほう」などの言い方もあります。もちろん英語では「You」でことたります。  
「おとうさんをなんとよびますか？」という副題が付けられた詩があります。ととさん、とおさん、オットー、おやじ、ちちうえ、などが出てきます。「おかあさんをなんとよびますか？」も。おかか、カーチャン、おかん、ははじゃ、おっかさんなどと続きます。（阪田寛夫・詩集『きつねうどん』より）それぞれの呼び方から、どんな親子関係なのか、容易に想像できそうです。いよいよ十一月から報恩講が各お寺で始まります。浄土真宗の宗祖・親鸞聖人のご法要です。「親鸞

って悪人正機の人やね」と日本史を勉強中の高校生が言いました。これは呼び捨て型。「御開山（ごかいさん）さま」と親鸞聖人のことを呼ぶ人は篤信型かも。「親鸞さま」と「親鸞さん」とではニュアンスが違う気がします。今から六十年ほど前に、お寺を出て街中（魚町の松田楽器店3Fが会場だった）で法話会をという願いではじまった「小倉・親鸞のつどい」。当時、親鸞聖人を呼び捨てにするとはなにごとかと憤慨した住職もいたとか。いずれにせよ、それぞれの呼び方に、その人と親鸞聖人との関係が表れるはずです。  
報恩講シーズン到来。呼び捨て型、篤信型、親しみ型…。皆様がどう「親鸞聖人」をお呼びするのか、耳をそばだててみましょう。  
（称名）

## 法座のご案内

2025年(令和7年) 2026年(令和8年)  
11月・12月・1月・2月の法要予定

### 小倉組報恩講「三寺参り」法要予定

報恩講法要	明圓寺	11月1日(昼)・2日(朝昼)	朝10時・昼13時半	加来 諭
報恩講法要	本通寺	11月1日(昼)・2日(昼)・3日(昼)	昼13時半	禿河 浩肇
報恩講法要	永明寺	11月15日(昼夜)・16日(朝昼)	朝10時・昼13時半・夜18時	中村 啓誠
報恩講法要	善龍寺	11月16日(昼夜)・17日(昼)	昼13時半・夜19時	原田 英真
報恩講法要	永樂寺	11月20日(朝昼)・21日(朝昼)	朝10時・昼13時半	花岡 静人
報恩講法要	古法寺	11月20日(朝昼)・21日(朝昼)	朝10時・昼13時半	舟川 智也
報恩講法要	西蓮寺	11月22日(昼)・23日(朝昼)	朝10時・昼13時半	結城 道哉
報恩講法要	正善寺	11月22日(昼)・23日(昼)	昼13時半	舟川 宏顕
報恩講法要	觀應寺	11月24日(昼)・25日(昼)	昼13時半	舟川 宏顕
報恩講法要	極樂寺	11月26日(昼)	昼13時	毛利 暁英
報恩講法要	安樂寺	11月28日(昼)・29日(昼)	昼13時半	伯 淨教
報恩講法要	正行寺	11月28日(昼夜)・29日(昼夜)・30日(昼)	昼13時半・夜19時半	海野 唯可
報恩講法要	教泉寺	11月29日(昼)	昼13時半	井上 顕悟
報恩講法要	慈光寺	11月29日(昼夜)・30日(昼)	昼13時半・夜19時	柳父 一道
報恩講法要	萬徳寺	12月1日(昼)・2日(朝昼)・3日(朝昼)・4日(朝昼)	朝9時半・昼13時半	利井 唯明
報恩講法要	淨教寺	12月13日(朝昼)・14日(朝昼)	朝10時・昼13時半	濱畑 慧僚
報恩講法要	淨光寺	12月18日(昼夜)・19日(昼夜)・20日(昼)	昼13時半・夜19時半	竹内 俊之
報恩講法要	明恩寺	1月14日(昼)・15日(昼)・16日(昼)	昼13時半	毛利 明法
報恩講法要	西願寺	1月16日(昼)	昼13時半	東元 晃慈
報恩講法要	西宗寺	1月17日(昼夜)・18日(昼夜)・19日(昼)	昼13時半・夜19時半	大在 紀
報恩講法要	淨念寺	1月31日(昼)・2月1日(昼夜)・2日(昼)	昼13時半・夜19時	栗原 一乗
報恩講法要	西教寺	2月13日(昼)・14日(昼)	昼13時半	池信 秀見
報恩講法要	善行寺	2月16日(昼夜)・17日(昼夜)・18日(昼)	昼13時半・夜19時半	舟川 宏顕

### 11月

11月の法要	明恩寺	11月15日(昼)・16日(昼)	昼13時半	朝枝 泰善
やなせなコンサート	西蓮寺	11月21日(昼)	14時～15時半	やなせな

### 12月

秀得会	極樂寺	12月22日	昼13時	巖 英昭
大みそかの鐘	西教寺	12月31日	夕16時	住職
除夜会	永明寺	12月31日	夜21時	住職
除夜会	西宗寺	12月31日	夜23時	住職
除夜会	慈光寺	12月31日	夜23時	住職
除夜会	正善寺	12月31日	夜23時	住職
除夜会	善行寺	12月31日	夜23時	住職
除夜会	本通寺	12月31日	夜23時	住職
除夜会	永樂寺	12月31日	夜23時半	住職
除夜会	西蓮寺	12月31日	夜23時半	住職
除夜会	淨教寺	12月31日	夜23時45分	住職
除夜会	淨念寺	12月31日	夜23時45分	住職

### 令和8年1月

元旦会	正善寺	1月1日(夜)	夜1時	住職
元旦会	萬徳寺	1月1日(朝)	朝6時半	住職
元旦会	淨教寺	1月1日(朝)	朝8時	住職
元旦会	安樂寺	1月1日(朝)	朝10時	住職
元旦会	正行寺	1月1日(朝)	朝10時	住職
元旦会	本通寺	1月1日(朝)	朝10時	住職
年頭初参会	永照寺	1月14日(朝)・15日(朝)・16日(朝)	朝10時	前住職(15日)・住職(14・16日)

皆様からのご意見・ご感想をお寄せ下さい。

連絡先

広報伝道部  
本通寺

〒802-0051 北九州市小倉北区黒原2丁目40-8  
Tel.093-922-8460 Fax.093-922-5887



# 小倉組報恩講三寺参りのご案内

## 報恩講とは

報恩講は宗祖親鸞聖人のご恩をしのび、そのご苦勞を通じて、阿弥陀如来のお救いをあらためて心に深く味わわせていただく法要です。

親鸞聖人御在世当時、お念仏を喜ぶ人々の間では、師源空（法然）聖人の御命日に「二十五日のお念仏」として念仏の集會がつとまっていた。親鸞聖人ご往生ののち、聖人を祖と仰ぐ私たちの先達は、それを親鸞聖人のご命日にあらため、ご法縁にあずかっていたのである。そののち、親鸞聖人の三十三回忌にあたり、本願寺第三代覚如上人はそのご遺徳を讃仰するために『報恩講私記』をつくられ、報恩講がいとなまれました。以来、聖人のご命日の法要は報恩講として全国の浄土真宗で大切にお勤めされてきました。

## 参拝にあたって

法要は各寺院の伝統や雰囲気の中で勤修されます。所属寺とは違った他寺院の雰囲気味わわれて御参拝ください。



報恩講でお斎（とき）の接待がある寺院もありますが、各寺の事情により、三寺参りの参加者の皆様のご縁にあえない場合もございます。その点、ご了承ください。

## 小倉組報恩講三寺参りとは

小倉組報恩講三寺参りは、「いろいろなお寺で親鸞聖人のお話を聞いてみたい」というご門徒の声から企画され、十年以上続いています。



小倉組では様々なお寺の報恩講の法座へ自由に聴聞に行けるように広く開放し、多くのご門徒がみ教えに触れていただけるように報恩講三寺参りを実施しております。

◀ 三寺参りの目印にお寺にはのぼりが立っています。

## 小倉組報恩講三寺参り「スタンプラリー」について

浄土真宗本願寺派（小倉組）では、念仏者の生活実践として、お念仏の日暮しの実践と報恩講への参拝奨励の取り組みを行っています。

浄土真宗の門信徒の間では江戸時代から、「月に一度はお手継ぎの寺院に、年に一度は別院に、一生に一度は本山本願寺に参拝したい。」といわれてきました。当時の交通手段といえば、すべて徒歩の時代ですから、遠方から本山や別院にお参りすることは、さぞ大変なことだったと思います。「それでも仏縁を結びたい」という先人たちの篤い想いを偲ばせていただく言葉だといえます。

小倉組では報恩講の参拝奨励の一環として、「小倉組報恩講三寺参りスタンプラリー」を実施しています。小倉組には二十八の寺院があります。「生涯聞法」のひとつの取り組みとして、まずお近くの寺院の報恩講に参拝してみませんか！そして、少しずつ参拝の輪を広げ、参拝を通して自分自身を見つめ、多くの人々と触れ合い仏縁を広げていく小倉組報恩講三寺参りスタンプラリーをみんなで始めましょう。

## 小倉組 報恩講 三寺参り スタンプラリーに参加しよう！



サンガ小倉10月号裏面掲載の報恩講「三寺参り」法要予定を参考にお参りしてスタンプラリースタート！

各寺院に参拝記念スタンプを設置していますので「スタンプラリー台紙」にスタンプを押してご応募ください。

お寺にある  
てらみつ君が目印！



たくさんのご応募  
お待ちしております！

応募者  
全員に

3ヶ寺以上で  
「参加記念品」を進呈！

スタンプを3つ以上ためたら、どこのお寺でも結構ですので受付にお渡しください。後日、記念品を差し上げる予定となっております。

## 小倉組第7期

## 「連研」のご報告

れんけん

## 「連研」とは

「連研」の正式名称は、「門徒推進員養成連続研修会」です。

「連研」がめざすのは、門信徒と僧侶がともに「現実の私と社会の問題を法に問い、聞き、語り合う」ことで、互いに念仏者としての自覚にめざめ、「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）を推進していくことです。

「連研」は、講義形式だけでなく、「話し合い法座」も行われます。僧侶が一方的にお話しすることが多いご法話と違い、お互いの意見を「聞き合う」ことによって、答えの出なかった人生の問いや、お互いの思いを共有することができ「連研」であり、「話し合い法座」です。

## 小倉組第7期連続研修会 れんけん

【日程】令和7年6月より偶数月第4日曜日（全12回）  
※8月は第5日曜日、12月は第3日曜日

【令和7年】6月、8月、10月、12月

【令和8年】2月、4月、6月、8月、10月、12月

【令和9年】2月、4月

【時間】15:00～17:30

【場所】西宗寺（6月・8月・10月）／小倉北区香春口2-4-23

西蓮寺（12月・2月・4月）／小倉北区三萩野2-8-23

【講師】外部講師



連研について詳しくはコチラ▶

<https://www.hongwanji.or.jp/jiin/renken.html>

▼「連研」奨励用リーフレットも上記アドレスよりダウンロードできます。



## 8月31日に行われた「連研」の様子です。

